

## 五月晴れのように輝く笑顔があふれる月に！

新年度が始まり約1ヶ月が経ちました。新しい職員室、学年、学級はいかがでしょうか？新年度の始まりは行事も多く、慌ただしい時期だと思います。これからも小学校では運動会の練習をしたり、中学校では部活動の大会に参加したり、さらに忙しくなります。先生方においては、ぜひお体に気をつけて、笑顔でお過ごしください。

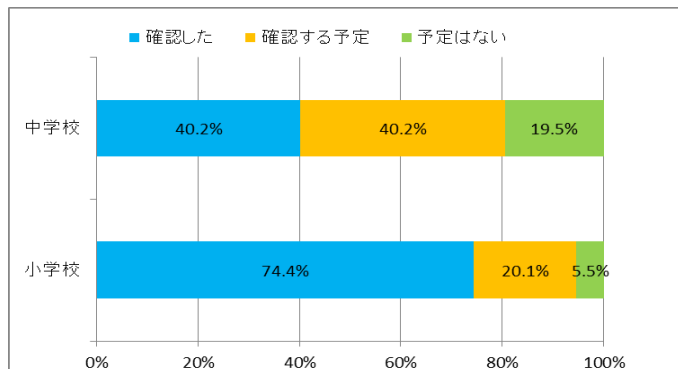
また、先生方と同様に子どもたちも大変な1ヶ月だったことでしょうか。小学校でも中学校でも1年生は新しい環境に適應することで精一杯です。他の学年でも、新しい先生や仲間とどのように接していくか模索していると思います。このように子どもたちは、緊張しながら新しい環境へ適應しようと努めています。だからこそ、先生方が何気ない様子を見取り、できたことをほめ、困っていることには手を差し伸べる、丁寧な対応が必要なのではないのでしょうか。そしてこのことは、先生と児童生徒の間だけでなく、先生方の間でも必要なことかもしれません。自分の隣に、新しい環境に悩んでいる先生はいませんか？先生方同士が関わり合って笑顔になれば、きっとその笑顔が児童生徒たちにもつながっていく、そして学校全体が、清々しい五月晴れに負けないぐらいの笑顔あふれる月になることを期待しています。

### 学習状況調査を活用しよう！！

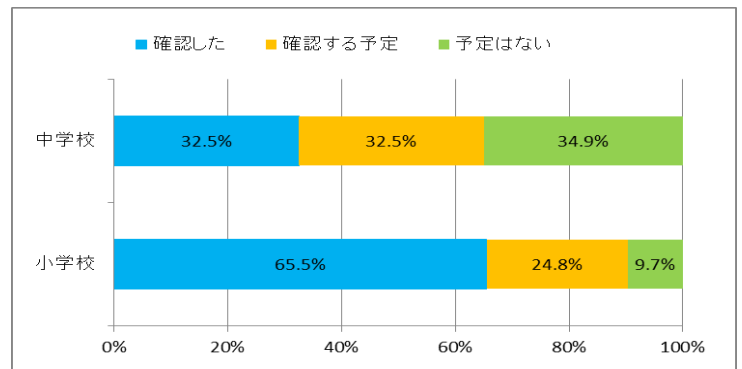
去る4月21日（火）に「全国学力・学習状況調査」ならびに「とちぎっ子学習状況調査」が実施されました。

この調査の目的には、「児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」さらに、「継続的な検証改善サイクルを確立する。」とあります。つまり、今後出てくる結果だけに注目するのではなく、そこから課題を見出し、授業改善に取り組むことが必要になります。その授業改善に効果があったのかを検証するためには、再度調査問題を活用してみましよう。下のグラフは、平成26年度の栃木県内での調査問題の再活用の状況です。

#### <学力状況調査実施後、再度調査対象学年に調査問題を解かせて、課題の改善状況を確認しましたか？>



【とちぎっ子学習状況調査】



【全国学力・学習状況調査】

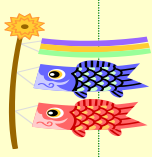
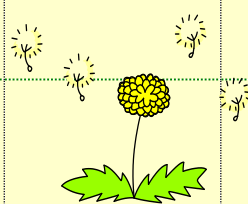
調査問題を活用しようという意欲が高まっていることが感じられます。教師として向上させたい資質の1つは、授業改善を目的に工夫に励み、その効果を確認して、さらに工夫改善に努めることだと思います。資質を高めるツールとしてこれらの調査を活用し、それぞれの先生方が、自分らしい方法を見出ししていくことを期待しています。

# 【5月の予定】

※ 各研修会等詳細は文書でご確認下さい。

※ 時間のみ記載の研修会の場所は、石橋庁舎です。

※ 市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日 	6	7 市学習指導主任研修会 14:00 下地区学校保健会 総会	8 下地区中学校春季 大会	9 下地区中学校春季 大会
10 下地区中学 校春季大会	11	12 市情報教育推進委員会① 15:30 児童・生徒指導推進中央 研修会 教育会館 13:00 市小中特別支援学級合同 レクリエーション大会 大松山公園	13	14 市小中連携プロジェクト委員会①14:00 市小中連携教育研究 会①15:00 市事務職員研修会 14:00	15	16 細谷小運動会 石橋北小運動会
17	18 下地区教育相談連絡 会 研修会 ① 13:30 間々田市民交流センター	19 市栄養教諭、学校栄養 職員研修会 14:00	20	21 情報教育研究会 14:30	22 下地区臨時採用 教職員研修会 13:00 祇園小	23 石橋小運動会 古山小運動会 国分寺東小運動会
24	25 道徳教育推進教師 研修会 総教センター 9:00	26 特別支援教育コーディネ ーター研修 15:00 市小中校長定例会議 ②9:00	27	28	29	30 祇園小運動会 緑小運動会 国分寺小学校
31						

## 大丈夫ですか？その姿勢！

学校では、児童生徒も教職員の皆さんも、パソコンを利用することが多くあります。ITCの活用が推進されるこれからは、さらにパソコンに向かい合うことが増えるでしょう。そこで、パソコンに向かうときの正しい姿勢について掲載します。児童生徒さらには教職員の皆様の健康のためにも、次の項目をチェックしてみましょう

### 【椅子の高さ】

キーボードに手を置いたとき、肘が 90 度以上になる高さ。できれば履物の裏面全体が床に設置するように足置き台を置くとよいです。

### 【体の位置】

ディスプレイとキーボードと頭の位置が一直線上になるようにする。(足を組んだり、椅子を回転させないようにしましょう。)

### 【ディスプレイの位置】

画面から目までの距離を 40センチ (ワイドモニターは 50センチ) 以上離します。画面の高さと向きは水平視線よりやや下向き (ディスプレイの上端が目の高さ前後) になるように調節します。

### 【輝度とコントラストの調整】

印刷した白い用紙と見比べて、液晶ディスプレイの色が同じになるように輝度やコントラストを調整するとあまり疲れない状態になります。調節方法がわからない場合は、情報教育アドバイザーまでご依頼ください。

※内容は、平成 14 年に厚生労働省が定めた「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」を基にしております。

ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/04/h0405-4.html>

